

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	原子力災害時における医療体制の実効性確保等事業委託費	担当部局庁	原子力規制委員会原子力規制庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	原子力防災課	課長 金子 修一			
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	政策・施策名	1. 原子力・放射線施設の安全確保 2. 危機管理体制の整備及び事故時の影響緩和 3. 原子力規制行政に対する信頼の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第6項 特別会計に関する法律施行令第51条第7項第3号	関係する計画、通知等	・防災基本計画 ・原子力災害対策指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、医療機関等が、医療関係者の派遣や隣接自治体の医療機関との連携等を行うことで、原子力災害時に円滑に機能する救急・災害医療体制を整備する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>【被ばく医療機関の充実・強化】 原子力災害等派遣医療チームを含む被ばく医療機関の体制を充実・強化するため、医療チームの派遣訓練や研修等を通じた医療技術等の高度化を図る。</p> <p>【救急搬送の円滑化・迅速化】 被ばく患者等の救急搬送や受入れを担う諸関係機関（実動機関、自治体その他医療機関）に対する教育・研修等を行うとともに、搬送・受入訓練等を実施し、対応力の向上を図る。</p> <p>【マニュアルの整備等】 上記の各種訓練等を通じて問題点・課題を洗い出し、諸関係機関の意見等を踏まえつつ、派遣や搬送、受入等に係る関係者向けのマニュアルの整備等を行う。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	527
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	527
	執行額	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (30年度)
	被ばく医療機関数	成果実績	件	-	-	-	200
		達成度	%	-	-	-	
	原子力災害等派遣医療チーム数	成果実績	件	-	-	-	200
達成度		%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	全訓練実施回数	活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	-
	全研修実施回数	活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	-
単位当たりコスト			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	被ばく医療機関の充実・強化事業		94				
	救急搬送の円滑化・迅速化事業		221				
	マニュアルの整備等事業		163				
	一般管理費		48				
	計		527百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、被ばく医療機関の更なる充実・強化、被ばく患者等の救急搬送の円滑化・迅速化を図るため、全国・広域的な取組として体制整備を行うこととしており、これを行うことができるのは、国において他になく、また、収益性も有さないため、民間等で行うことも困難である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて、被ばく医療機関の更なる充実・強化、被ばく患者等の救急搬送の円滑化・迅速化を図るため、全国・広域的な取組として体制整備を行うこととしており、政策的意義が大きく、今後着実に事業を遂行していくことが必要。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

原子力規制委員会
527百万円

〔原子力災害時における医療
体制の実行性確保等事業〕

【企画競争入札・委託】

A. 民間団体等
527百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)